

地域で困っている方を隊員がおたすけ 「半下石おたすけ隊」の発足式

6月23日、地域の困った方を手助けする「半下石おたすけ隊」の発足式が半下石公民館で行われました。隊員14名が、掃除やゴミ出しなど日常生活での困り事を有料で支援。代表の半下石和枝さんは「手伝いをして、それ以上の物を貰うこともあった。料金が発生することでお互いに気遣いが減ると思う」と話しました。



調整担当者の半下石良子さんは「車の免許を持っていない方が多い地域のため困っている方の手助けになれば」と語りました。

写真左より桑原直也監督、上鶴陽翔くん（神川小4年生）、福岡真咲さん（大根占小6年生）、畠中胡羽さん（大根占小6年生）



県大会予選で小学生団体の部を勝ち抜き 神川剣道スポ少が全国大会へ出場

神川剣道スポーツ少年団が、5月に開催された県大会予選で小学生・団体の部を勝ち抜き、7月27日に日本武道館で行われる第57回全国道場少年剣道大会への出場権を獲得。主将の福岡真咲さんは「全国大会でたくさん勝てるように頑張りたい」と意気込みを述べました。神川剣道スポーツ少年団では団員を募集中です。

子どもから高齢者まで参加できるスポーツ モルック大会に24チームが熱戦

7月2日にサンドームおおねじめで「錦江町フレンドリースポーツ大会×ニュースポーツフェスタ」のモルック大会が開催されました。今回で2回目となる大会に24チーム約100名が参加。「I K E D A 2・3チーム」で参加した池田小2年生の木下幸乃助くんは「投げて当たるのが好き。来年は優勝したい」と答えました。



チーム戦で木製の棒を使い、ピンを倒し点数を競うモルック。激しい運動もないため、どなたでも参加できるスポーツです。

錦江町MIRA Iサポート協同組合の鳥越秀一代表理事は「県本土初の組合として良い見本になれば」と意気込みを語りました。



錦江町MIRA Iサポート協同組合に認定証 働き手確保や地域の活性化に期待

6月21日、町内9事業者でつくる「錦江町MIRA Iサポート協同組合」へ特定地域づくり事業協同組合認定証の授与が行われました。組合で雇用した職員を事業者の要望に合わせ派遣する制度で、県本土初の認定。雇用の受け皿を設けることで移住者や若者が増加し、働き手の確保や地域活性化が期待されます。

日本最初の選挙が行われてから約70年が経ち、ようやく18歳で投票ができるようになったと学んだ児童たち。投票に行くことが政治に参加する第1歩であることも教わりました。



実際に投票箱を用いて模擬投票 選挙や政治の大切さを学ぶ

6月15日、池田小学校で選挙や政治に関心を持ってもらうために鹿児島県明るい選挙推進協議会が選挙の出前授業を行いました。5・6年生の6名が、選挙の歴史や投票のやり方などを教わり、実際に投票箱や用紙を用いて模擬投票を体験。6年生の森田結衣さんは「投票の体験できてよかった。18歳になったら選挙に行きたい」と話しました。

8年ぶりのステージを思い思いに満喫 かりゆしバンドがコンサート開催

与論町で活躍する「かりゆしバンド」が6月1日、田代開発センターで8年ぶりにコンサートを開催しました。アンコールを含め16曲が披露され、参加した約100名は曲に合わせ手拍子や踊るなど思い思いに満喫。基和代さんは「久しぶりで涙が出た。元気をもらい、また明日から頑張れる」と元気に答えました。



かりゆしバンドの田畑哲彦さんは「全国ツアーをゆかりのある錦江町からスタートできることが嬉しい」と話しました。

昨年12月に店舗の調査を行い、今年1月に提言を提出。黒瀬聖佳さんは「改善してくれて嬉しかった」と笑顔で答えました。



高齢者などに優しい店づくりに向けて 改善店舗へ手作りの感謝状を贈呈

6月14日、大根占小学校5年生5名とゆうゆうカフェメンバー2名が、高齢者などに優しい店へ改善した店舗へ手作りの感謝状を贈りました。鹿児島銀行大根占支店では、大きな電卓に交換や時計を見やすい位置への変更を実施。肥後雅志支店長は「今後も改善策があればすぐに行っていきたい」と話しました。